



クヰルの

子らは

砂上に

歌う3

梅田阿比

PC  
BONY



クジラの子らは  
砂上に歌う 3

梅田阿比

whale calves sing on the debris



ポニー・コミックス

## 泥クジラの住人たち



**オウニ** (年・16才)

泥船のサイにアタリ、同僚の  
ダムープ“体内モダラ”のサイ



**リコス** (年・14才)

泥クジラに到着した“中隊”のサイ  
チャクロと大喧嘩を覚



**チャクロ** (年・14才)

“泥クジラ”の泥船のサイ  
なんでも覚悟せずにい  
られない過激な戦



**ネリ** (年・17才)

長老の愛護者の少女。  
産卵のさいにサイをチャクロに見せる。



**サキ** (年・13才)

チャクロの協力し  
アムイアの襲撃を受けて死



**スオウ** (年・17才)

泥クジラのサイのサイ。  
長老の愛護し、長老の



**ゲンシュ** (年・13才)

自衛隊のメンバー  
チャクロ大好き。



**田長** (年・30才)

自衛隊のトップ  
實力はオウニに匹



**タイシャ** (年・42才)

前隊長だが、実績はなかった。  
アムイアの襲撃を受けて死

# 侵略者たち



リョダリ

感情過多のアバトイア  
リコスとは昔なにか。



オルカ

泥クジラを襲撃した  
アバトイアの軍医長官。リコスの兄。

## “泥クジラ”と砂の海の記録

～tales of the whale calves～

砂刻暦93年。

砂がすべてを覆い尽くす世界に浮かぶ国連船“泥クジラ”。  
人口約300名ほどの異国種で、外の世界のことは誰也不知道。  
感情を源とする能力“サイミア”を興る者たちは“印”、  
そうでない者は“無印”と呼ばれ、“印”は皆30才前後で命を終える。

記録係の少年チャタロは、  
ある日漂着した廃墟船で少女リコスと出会う。  
最初は人形のように巧みだった彼方も、  
やがて泥クジラの手どろも土もと心を奪われ、  
ともに暮らしはじめる。

しかしそんな時、泥クジラを襲撃する兵士“アバトイア”が襲撃し、  
チャタロは壊れかじみの土とや多くの仲間を失う。  
7日後の総攻撃を前に、泥クジラの実権を興る長老会は、  
泥クジラを砂の海に沈めるという決定を下した——  
闘め力を誇つた少女4人にその事実を告げられ、  
チャタロはリコス、オウニルと長老会を食い止めようとするが——

「この島が、私たちの大事な世界のすべてだった」



第9節	美 <sup>ミ</sup> 國 <sup>コク</sup> の選 <sup>セン</sup> 択 <sup>タク</sup>	5
第10節	お <sup>お</sup> か <sup>か</sup> え <sup>え</sup> り	51
第11節	ぼ <sup>ぼ</sup> く <sup>く</sup> ら <sup>ら</sup> は戦 <sup>セン</sup> 塵 <sup>ジン</sup> のむ <sup>む</sup> こ <sup>こ</sup> う <sup>う</sup> へ	95
第12節	鯨 <sup>クジラ</sup> の <sup>の</sup> 上 <sup>じやう</sup> の <sup>の</sup> 戦 <sup>セン</sup> 争 <sup>そう</sup>	141
あとがき	「ク <sup>ク</sup> ザ <sup>ザ</sup> ラの <sup>の</sup> 子 <sup>こ</sup> ら」が <sup>が</sup> う <sup>う</sup> た <sup>た</sup> った <sup>の</sup> 歌 <sup>うた</sup>	183

初出

「ミステリーガムータ」

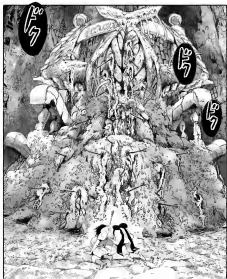
’14年5月号～’14年8月号掲載

この作品はフィクションです。  
実在の個人・団体・事件等には  
いっさい関係ありません。



第9話  
薬園の選択















あなたたちは……  
悪人じゃない

この世界の……

希望だと  
思うの……



今は……  
そう思ってます……  
います……

わ……

悪人な

百年もの時を……  
罪を背負い続けてきた  
彼らが……

……彼らが  
希望の存在……



貴を去る以外に  
今ある重苦から逃れる  
術などない!!



そんなの誰が  
決めたんだよ!!



長老さんたちは  
タイシヤをまや  
やみやみんが...

罪人だから  
死んでしまっ  
て当然だよ...

よかったのだと  
思っていますか?





希望があるのに

逃げるのは  
イヤだっ…!!

リコスもみんなも  
絶対守ってやる…!!

















……あいつが！

やったのか？

……なんだ



おじいちゃん達  
土壇場で  
奮起づいたかな



あんた

その世……

……これは  
偽りの楽園

全てはこうして  
朽ちていく

















あうあうが  
落ちてきた



リコスは  
医療室へ運ばれ  
治療を受ける  
ことになった

彼女が以前のように  
長老会によって  
拘束されることは  
もうなかった



長老会は再び  
出現した



無言自決の決意を  
快送りにした彼らは  
この時、まだ何も  
決断できていなかった



4日後に  
スキオスの襲撃を  
控え











「それでは  
時の海の船には  
運タジキも富め  
運命が存在して  
いるのですね！」



はい



「スーアを破壊  
すれば船は  
沈むんです」

「だからなんです……  
最悪な人たちが  
そうしようとした  
ように」



だからっ……



は……





「おちんちんの国が  
持っている価値は  
その『ずきりずきり』とて  
やうだからなのかな」



「おまんこ……  
国に入ってから  
くるを！」



「はん  
はいかよ」

「……いいと思います」



「できるだけ  
多くの人の知恵が  
必要だと思うので  
マゾオに知恵なんか  
あると思うのか」



「私たちの国が  
持っている  
おまんこは  
全部で  
もつてす」



「うふふふ  
このおまんこは……」

「おまんこ  
全部！」

「おまんこ……  
全部で……」



「おまんこ……  
全部で……」









宮園の  
最大の秘密が

神の海を渡り、  
連続する神域を  
脱走してしまっただけです

いつか  
彼らにファレナを  
発見されてしまう  
のではないかと

これは海神を  
隠匿だった

メーヌは海神宮の  
隠匿と密着

メーヌを  
神域に繋ぐ  
ことだけは絶対に  
避けなければ  
ならない

これは  
強制でした

でも……

ファレナだけは  
他のメーヌとは  
違った

人の感情を  
食べられないのです

あなたがたの先祖は  
マースによる感情の  
支配を否定し

感情を持ち続ける  
ことを選んだ人々  
だったそうです

文明であるファレナは  
彼らを閉じ込める  
実験の場となったのでしょう

私たちはファレナを…

感情のまま生きる  
野蛮な一族が

時の海に閉じ込められたまま  
小さな箱の中で暮らしてみあい  
疑いあって暮らすしかない…

生き地獄のようなあても  
無えられました



ファレナを敵には  
選まない

けれど  
ファレナと  
ファレナの罪人を

我々は  
受け入れることが  
できない

そこで  
決められたのが

ファレナの破壊と  
罪人の末裔全員の  
処刑でした！

……あつた

……あつた……







この世界に  
私たちの仲間が  
見つかるまで

私たちが希望を持って  
戦うことはできると  
思いますか？

……あなたが  
それを  
望むのなら

私は……

私のすべてをかけて  
手助けします



リリスが居たいた  
世界の真実  
まださでじきない  
気がする

あんなに美しい  
世界

他にもあるんじや  
ないか

……あんなに美しい  
世界……

新しい世界に  
希望があるの……

水たまり



俺達がある以上は  
事変だ

太陽は一日を  
裏切らず

星は一年を  
裏切らず

我々に真実を  
届けることを  
おれをい

この雷みは  
けして逃切れることは  
なかった

天も地も  
人を呪うことは  
ないのです

長蛇会はよも  
この機会を許可  
しなかったとね

スオウ  
がんばってー



スオウは  
龍タジラの  
民たちに

リコスの語った  
私たちをめぐる  
状況を変えた



我々はこの世界の  
民が

我々を理解し  
手を差し伸べて  
くれるまで

願おうと  
思います



民たちが  
シロツクを受けない  
ように

量産と内容を減ひ  
それは現実なもの  
であった



ホーン  
ホーン

即ち方々の  
サイミアに...



助かれば  
ならなくては  
しょう...



そのためには...





ここからはずっと前から  
短命の呪いを掛け入れてきた

これからの運命  
だってそうだ

あとはお前が登々と...



戦えって  
言えばいい!

オウニ!?

あなたも...



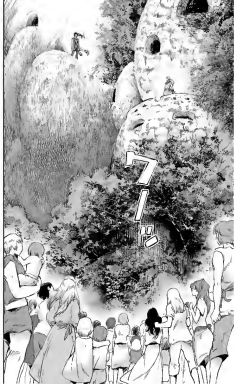


力を貸して  
くれるのですか



そうだ





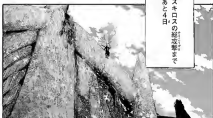




誰にも  
わかっていない



この道が  
正しいのか



スキロスの総攻撃まで  
あと4日

第10話  
おかえり







サイミアは  
人々に直接働きかける  
ことはできない

私たちが降りなどを  
力を使っている

馬や万機に  
働きかける



サイミアは  
人々に直接働きかける  
ことはできない  
サイミアは  
人々に直接働きかける  
ことはできない

道具のなかでも  
上げられる

これがサイミアの  
使い方だ













ラシキさまは2年前に  
異世界に入った  
少し変わり者と  
言われる女性だった















呪われた  
タジラの子らも

ようやく  
呪われるのさ……



なにもしなければ  
死を待つだけです



ラシマさま



呪いも憎しみも  
関係ない……

私たちは考えることを  
やめてはいけない

立ちどまるわけには  
いきません……



知らない任務  
なんでしょ  
ほんとに  
あいつの  
手助けする  
つもり？



おき  
ついでです

なんが  
食べ物  
とって来る



オケル  
言長の作戦の  
メンバーに  
選ばれたの？



俺は...



戦うのか



お前はどろする？







サイミアを使った  
攻撃は死タジタでは  
ないが、効果は低い



















—置いてかないで  
くれよ

行かぬえよ

この世に  
おれんが  
おらんが

オウ  
ー









「やはり明日は無理ですとね」

ん？

スナモドリ

「朝の露目になぞ  
射かけさうとして  
遊ぶんだ」

ああ？

ぐりぐり

あいたけ...

ちびっ子たちは  
楽しみにしてた  
だろうけど

さすがに  
無理とね！

それより明日は  
全休宣言！

最後にも  
みんなの心を  
ひとつにささやね

終わりの  
音楽さ——



つれ...

いまだん満ちた  
いたずらをした

私は雲がうらやましい  
生雲の日々の中で  
思いつく限り

スキロスの  
誕生の日



この空と  
砂の海を渡して



恐ろしいことも  
あるでしょう

けれども



以上が明日の  
私たちの作戦です





この日のために  
一年かけて  
完成させた

工部省心の  
大発作

自動砂かけマシン

おっけー...

ん？

砂かけ

自動

マシン!!

変わって  
ないだろ

チャクロー!!

ネス!!

ロフ!!

すば

おっけー

なにをしても  
勝たない  
勝つてるんですか...













スナモドリには  
遠くはれの  
意味があった







ずっと  
抱えている



これから



おかえりなさい



おかえり



悪口は

そばで  
見守っていて





あなた……

近々も明日は  
やることに  
なつたよ

「最期」から  
命がきた



自分の用意を  
しておきなさい  
サエナ

死体が  
無いのは  
いけない



……



あなたの心は  
なにも感じないの？  
明日が最後でも……

死にたいものは  
事の死に方が酷いか  
どうかなだけ？



……

「人の気持ちなんて  
察（さ）によって見える  
ものじゃないだろう？」

なぜ誰にもわかって  
心の在り方にきくは  
くだぬもんだ？





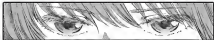
おかえり / 帰



第11話  
ぼくらは  
戦艦のむこうへ







ネリはどこに  
いるの？



君は誰？



…あの子は  
ママのおなかに  
居ったわ

ママの傷を  
癒すために











もう  
おれ  
が  
死  
ん  
で  
る  
—

砂ヶ浦  
開港  
130  
年  
7  
月  
17  
日

夜明け頃には  
遠方からの風に  
よりかこつた  
ちり煙霧が  
確認されていた

砂ヶ浦開港130周年記念行事「開港の朝」の様子







日の出後  
海は砂嵐となった

砂の海では  
新しい上昇気流により  
砂子塵埃といわれる  
砂粒が上がり



海面上には  
砂子塵埃により  
黒い上がった  
海の遠景が透る

海上の様子は  
いっそう  
透られていた



こんな天は  
久しぶりだ

……の風は……

助太もの作戦には  
都合がよいのかも  
しれない



チャウロが  
会談に参加して  
まとめてくれた  
関ヶ原の跡地作戦

近頃の  
食料配給の  
難題と数度で…

とても  
細かい



前線  
前線

スキロスによる  
関ヶ原の戦いの  
地形（戦場）を  
対する



関ヶ原の  
戦場の図は  
以下のとおり

各陣の食料配給  
計画を定め、  
食料を配給



前線には  
8 歳以下の子供  
及び身長の低い  
また病人、傷者など  
を戦場から撤退する

（前線には）  
食料配給となる

この戦場  
中心に建設

戦場の  
数は  
4つである

1 戦

2 戦

3 戦

4 戦















第3班  
地点第3班

計3班  
田 班  
人 班  
員 67  
44 人



チヤタロは？



お兄ちゃん  
行っちゃうの？

ああ  
俺の上  
留ま  
だから

トビ  
行くわよ



なんで  
チヤタロ  
この班に  
いないの？



チヤタロも  
俺達にいたほうが  
いいよ

ですとあいやし  
だし

サイミア  
へたっぴだと  
思ないもん



第4期  
第4班  
第4組

計47人  
計28人  
計15人



はらばら  
早く持ち帰ら  
つてよ

はーい



あ  
シノノさん  
だー



わーい  
シノノさん



あんたは  
親友めなす  
さあどきに  
人質ねとな  
何しに  
来たんだと

うるさい  
見返りだつ

次い



へーへー  
この班は  
大文夫だから  
早く行け

シノノさんは  
理つていいけどー



彼女が4班の  
班長だ

このまま  
置いていく

え









数回前に  
さかのぼる



作中の  
最終確認を  
します

馬タジラでは  
お前におかれ  
船の乗客を  
迎え撃ちます



これはけして  
船を打ち破ることを  
目的にはしていません

自分たちの  
命を守ることを



できるだけ  
長く戦いを続ける

生き残ることを  
目的です



そして

ここに集まった  
人々には  
大事を任務を  
実行して  
もらいます

現タジヤで  
防衛を  
している隊

駐屯地  
タキロアに  
侵入し

船内の  
スース・スキロス  
艦隊

敵の船を  
沈めます

この任務は  
迅速な戦術が  
求められます

時間がつかれば  
それだけ  
現タジヤでの  
犠牲がふえる

やはり船と  
戦々の威力差は  
圧倒的だからです

さらに攻撃隊は  
船の壁に突っ込む  
わけですから

大家を急襲を  
伴います

なので  
サイエンスの能力の  
高い人に声をかけ  
集まって  
もらいました

実験してもらった  
人もいます

スオウさま  
……なぞ

ネクラに、**魔  
デストロイヤー**が  
メンバーに  
いるんですか？

サマタは  
魔の魔で  
スーパースタスを  
持っているわ

魔の魔ースを  
知っている人が  
できるだけ  
いたほうがいい

そのために  
サマタと  
オウニに  
頼みなのです

はあ、いい  
お誘いだなー





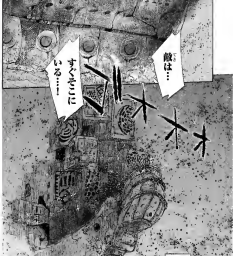














これは  
収まらぬもの  
なのか



その熱は、真に  
燃える歴史の重荷が  
象している  
書かれており



わかりません  
砂の海、戦時の  
気象現象のこと

砂の海は  
時を  
燃やします



その熱により  
海面上の  
大気は、暖められ  
空気が上昇



そこに風が流れ込み  
さらに熱帯低気圧の  
風雨が重なった時

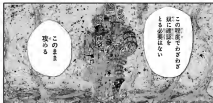
不気味な  
音の激しい流れが  
できます



原因が天候に  
よるものなら  
今後の予測は  
つきませんが

原因は  
海そのものの  
熱にあるため  
予測は困難です

カ  
カ

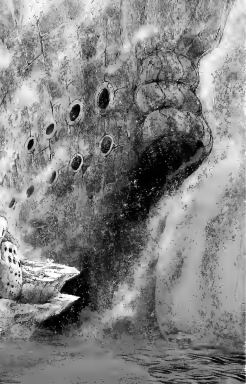


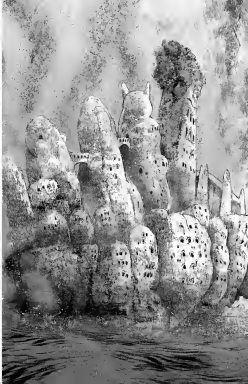






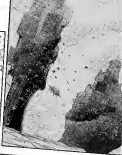




















有<sup>レ</sup>限<sup>ノ</sup>の<sup>レ</sup>香<sup>ヲ</sup>  
天<sup>ノ</sup>空<sup>ノ</sup>より<sup>レ</sup>金<sup>ヲ</sup>てを<sup>レ</sup>見<sup>レ</sup>送<sup>リ</sup>  
届<sup>ケ</sup>て<sup>レ</sup>を<sup>レ</sup>照<sup>ス</sup>る



しかし<sup>レ</sup>其<sup>ノ</sup>終<sup>ノ</sup>の<sup>レ</sup>者<sup>ヲ</sup>で<sup>レ</sup>え  
我<sup>ノ</sup>々<sup>ノ</sup>を<sup>レ</sup>覆<sup>フ</sup>れ<sup>レ</sup>覆<sup>フ</sup>ける  
我<sup>ノ</sup>々<sup>ノ</sup>を<sup>レ</sup>包<sup>ム</sup>れた<sup>レ</sup>も<sup>ノ</sup>う<sup>ノ</sup>な



世<sup>ノ</sup>界<sup>ノ</sup>の<sup>レ</sup>無<sup>レ</sup>数<sup>ノ</sup>の<sup>レ</sup>物<sup>ヲ</sup>ど<sup>レ</sup>り<sup>ヲ</sup>  
我<sup>々</sup>は<sup>レ</sup>失<sup>フ</sup>い<sup>ク</sup>



こ<sup>ノ</sup>こ<sup>ノ</sup>ら  
上<sup>ノ</sup>が<sup>レ</sup>る<sup>ワ</sup>



だ<sup>が</sup>掌<sup>ノ</sup>の<sup>レ</sup>砂<sup>ヲ</sup>を<sup>レ</sup>見<sup>レ</sup>よ  
こ<sup>ノ</sup>こ<sup>ノ</sup>に<sup>レ</sup>残<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>物<sup>ノ</sup>の<sup>レ</sup>光<sup>ヲ</sup>あ<sup>リ</sup>

愛しき友よ

あなたが千歳び  
率にその身を  
献わられ  
古の霊海の中  
眠れども

星の園に

尊く生さん

## ⑤ 記録係のメス ⑥

### 記録 ⑥

#### 衣類について：

物資の乏しい荒クジラでは、衣類は貴重なものである。  
民たちは古着を着まわし、衣類は何度も縫い直され、受け継がれる。



彼らが所持する衣類の数は少ないが、  
ひとりに一枚、必ず支給されるのが  
「砂上げマント」である。

風の強い白や、砂の海に降り出すときに  
必要になる丈夫で保温性の高いマントは、  
就寝時の掛け布団としても使用されている。

内 7

## 砂の面の生き物たち

砂の海には、様々な生き物たちが生息している。

「砂よけマント」の素材として使われるのはウイジガの鱗である。ウイジガは幼虫の頃、海の中に巣を持ち、砂色の鱗をつくる。

嵐の日に見ることができるのがスナマンボウである。深海の遺物を食べるとされており、それらが巻き上げられる砂嵐の日に海面に現れる。是クジラの人々は、スナマンボウを狩るため嵐の海へ出ていくこともある。

**スナトビ:**  
海面を飛び回りながら移動する、光沢のあるふしぎな魚。

**スナキウワ:**  
鱗で守られているふしぎな動物。目は退化している。

**スナカブト:**  
砂の栄養価が高くおいしいため、飼育されている。









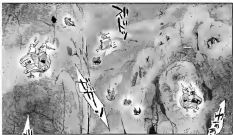
第12話

鯨の上の戦争

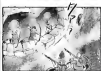














「タジタジに  
陣つた人々」が  
陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を

「たまたま  
陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を

「陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を

「タタタ」

「陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を  
陣の中心を









……

……



……

……



……



……









「ファアレナの悪霊」か？











人を傷つけないければ  
生きていけない



そうだったから  
あまりにも辛い



あつ



それでも



迷くジラの仲間を  
も失いたくない

きん二度で



アヤンキー

よく  
聞いだー

デストロイヤーの  
外巻も返上やな





































マースの邸の  
前には8つの  
扉があり

魔導院は足掛かりを  
得る柱目に  
たどり着いた



ここが邸の  
扉でその先は  
サイとアが使えない  
体内エリアだった



みんな

優秀！

ここまで誰も  
気づけずに来た



これで  
打ち合わせ  
とまりにできる













「僕たちが罪を  
触ったのは  
わかってるはず  
なのに」  
「誰か救って  
こないの  
か」といふと

「ファンタジーに  
びびっちゃった  
んだろ……」



「……」

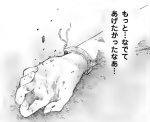


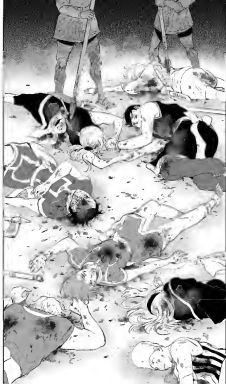
「……僕だけ  
へましたなんか  
置えるやよ……」  
「無理やり  
ついて来るとして  
足手まといじゃ  
かっこつかねえ……」











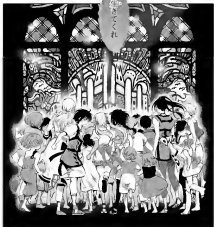


おれはもう  
死んだ



未来が見たい





高橋 敏子

# 「クジラの子ら」がうたった歌

ああッ！  
また前線が  
わからなくなつて  
しまった――



この瀬原の原稿である  
チヤク口氏の記録の  
冒頭に書かれている  
うめです

瀬原の原稿である  
チヤク口氏からて  
書き物は  
胸気の症状  
みたいなもの



この記録たちは  
作品として  
読まれることを  
前提として  
書かれていない……

なので内容については  
断言はしていない  
部分も見受けられます

でも書くことへの執着は  
無言のうちに  
には反映されるのです

おおー









BONITA COMICS

# クジラの子らは砂上に歌う③

平成26年9月25日 初版発行

著 者 梅 田 阿 比  
©A UMEDA 2014

発 行 者 秋 田 貞 美

発 行 所 蟹 谷 田 書 店

〒100-8101 東京都千代田区新田橋2-10-3

電話(03) 3255-7355 販売(03) 3254-7348

製作(03) 3255-7373

発行Cコード 99130-0-99353

印 刷 所 赤 城 印 刷 株 式 有 限 公 司

Printed in Japan

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での許容を  
除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンや  
デジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権侵害です。

(注) 本館紙製・無断・上巻・下巻・両巻・全巻複製・転売しては法律違反

ISBN978-4-253-26103-6

デジタル版 2014 年発行

製作所 デジタルカタパルト株式会社

<http://www.digital-catapult.com>